

# 钏新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

〈中〉

からの客員教授であるヤンホラーケ氏から演奏表現技法、感覚などを学んだ。五十八年にはオーストリア・ザルツブルグで開かれたモーツアルベルグ国際夏期講習に参加、ザルツブルグ音楽大学の校長を務めたカールゼーマン教授から指導を受けた。

今年末に結婚の予定だが「音楽は私の生活からは切り離せない。オーケストラとも共演のリサイタルをはじめ、峰岸壮一リラックスコンサートなども中央の演奏家の伴奏などを務めて、その実力が高く評価されている。钏路短期大学の非常勤講師も務めている。

ピアノから逃げ出しあくなることもある。そんな時にしっかり指導してくれたのが荒谷先生で、私にとっては親同様の存在である。その影響

優れた演奏表現法と感覚

地元の若手演奏家の中で最も期待されている一人。钏路湖陵から武藏野音楽大学器楽料に進み、卒業後钏路市に戻り、ピアノ教師として音楽教室を開く一方自らも演奏者としてリサイタルや、中央演奏

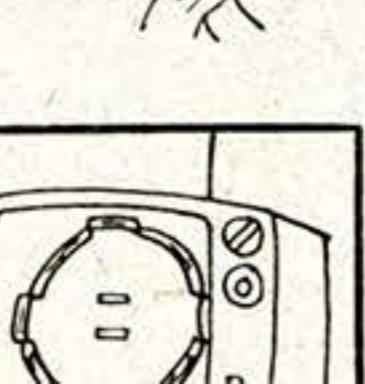
## 着実に多彩な演奏活動

後進の指導にも情熱燃やす

いはじめ、教育大学钏路分校教授の荒谷宏氏に師事、ピアノを中心とした生活が始まつた。ピアニストをめざして武藏野音楽大学器楽科に入学、そこで丸山徹蔵教授、チエコ

地元に定着したコンサート活動を続ける桃井さん

「ピアノは地道な練習の積み重ねばかりで、子供の頃は他の事にも興味を覚えて、つい



# ア・パ・レ君

木崎征夫

相上つかせよ